

株式会社法総合基礎講座

～「会社法」の必須知識を体系的・総合的に解説～

●講師のプロフィール●



第Ⅰ講

河内 隆史（かわち たかし）

明治大学名誉教授

●プロフィール●

1971 年中央大学法学部卒業、同大学院博士課程単位取得満期中退。産業能率大学経営情報学部助教授、神奈川大学法学部教授、明治大学法学部教授・法科大学院教授を経て、現職。明治大学・日本大学・大

原大学院大学講師。

著書：『新版商品先物取引法』（共著、商事法務）、『金融商品取引法の理論・実務・判例』（編著、勁草書房）、『ハイブリッド会社法』（共著、法律文化社）、『企業法』（共著、八千代出版）ほか。



第Ⅱ講

川島 いづみ（かわしま いづみ）

早稲田大学 社会科学部・社会科学研究科 教授

●プロフィール●

1985 年早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程 単位取得満期退学。専修大学法学部助教授・教授等を経て、2002 年より早稲田大学社会科学部教授。専門は、会社法・金融商品取引法。

近著：『英法系諸国の会社法－理論と実務・2』（共著）（中央経済社、2021 年）、『商法総則・商行為法〔第 3 版〕』（共著）（有斐閣、2021 年）、『公開会社法と資本市場の法理』（共編著）（商事法務、2019 年）。



第Ⅲ講

尾崎 安央（おさき やすひろ）

早稲田大学名誉教授

●プロフィール●

1978 年早稲田大学法学部卒業。1980 年早稲田大学法学部助手、専任講師、助教授、1992 年より早稲田大学法学部（現在は名誉教授）教授。

最近の論文として、「株式会社の『監査』について」（早稲田大学早稲田法学百周年記念論文集第 2 巻民事法編、2022 年）、『「配当政策」の開示とその会社法における意義」Disclosure&IR21 号（宝印刷、2022 年）。



第Ⅰ講

受川環大(うけがわ かんだい)

明治大学 専門職大学院法務研究科専任教授 博士(法学)

●プロフィール●

1986 年早稲田大学法学部卒業、1992 年同大学院法学研究科博士後期課程 単位取得満期退学。駒澤大学法科大学院教授等を経て、2018 年より現職。

専門は、商法・会社法。主要著書：『組織再編の法理と立法』（中央経済社、2017 年）、『商法総論・会社法総則・商行為法』（中央経済社、2024 年）。



第Ⅱ講

尾関幸美(おぜき ゆきみ)

中央大学大学院 法務研究科 教授

●プロフィール●

1999 年一橋大学大学院法学研究科博士後期課程 修了(博士(法学))。長崎大学経済学部専任講師・助教授、駒澤大学法学部准教授、成蹊大学法科大学院教授を経て、2021 年より現職。

著書：『コア・ゼミナール会社法』（共著）（新世社、2023 年）、『論点体系会社法 3（第 2 版）』（共著）（第一法規、2021 年）、『社外取締役とコーポレート・ガバナンス』（弘文堂、2003 年）



第Ⅲ講

尾形 祥(おがた しょう)

早稲田大学 法学学術院 教授

●プロフィール●

2004 年 早稲田大学法学部卒業。2016 年 早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程修了（博士（法学））。早稲田大学法学学術院助手、高崎経済大学経済学部専任講師・准教授、早稲田大学法学学術院准教授を経て、2022 年より現職。

主要な論文として、「評議員による役員の責任追及の訴えをめぐる法的課題—学校法人与公益財団法人を中心に—」（早稲田大学早稲田法学百周年記念論文集第 2 巻民事法編、2022 年）、「スウェーデンにおける家族保有の下での会社支配」『企業法の現代的課題—正井章彦先生古稀祝賀』（成文堂、2015 年）。